

## パイロットプロジェクト ニーズ調査 ～カンボジア～（2016/2/18-19）

災害統計グローバルセンターでは、グローバルデータベースの構築に先立ち、東南アジア地域の5ヶ国程度に対してニーズ調査を実施し、途上国ニーズに合わせた支援を検討しています。

2016年2月18日から19日にかけて、小野裕一教授と伊藤拓也研究員がカンボジアのプノンペンを訪問し、国家防災委員会（NCDM）、計画省（Ministry of Planning）、JICAカンボジア事務所、UNDPカンボジア事務所との協議・意見交換を実施しました。今回の訪問の主な目的は、カンボジアの災害統計整備及び活用における課題やニーズを把握し、災害統計グローバルセンターとパートナー機関が連携して、実施可能な支援を検討することでした。また、災害被害統計を当センターで構築予定のグローバルデータベースに取り込む際に必要な手続きに関して確認しました。

カンボジアにおける関係省庁間の連携状況や災害関連統計の整備状況を把握し、災害被害統計の収集に対する継続的な支援ニーズを確認できました。今後、訪問で得られた情報に基づき、同国への支援を検討していく予定です。



国家防災委員会 NCDM



JICA カンボジア事務所



UNDP カンボジア事務所



計画省（Ministry of Planning）打合せ



都市化が進むプノンペン市内